

De l'impressionnisme à l'art moderne dans les collections des musées de STRASBOURG

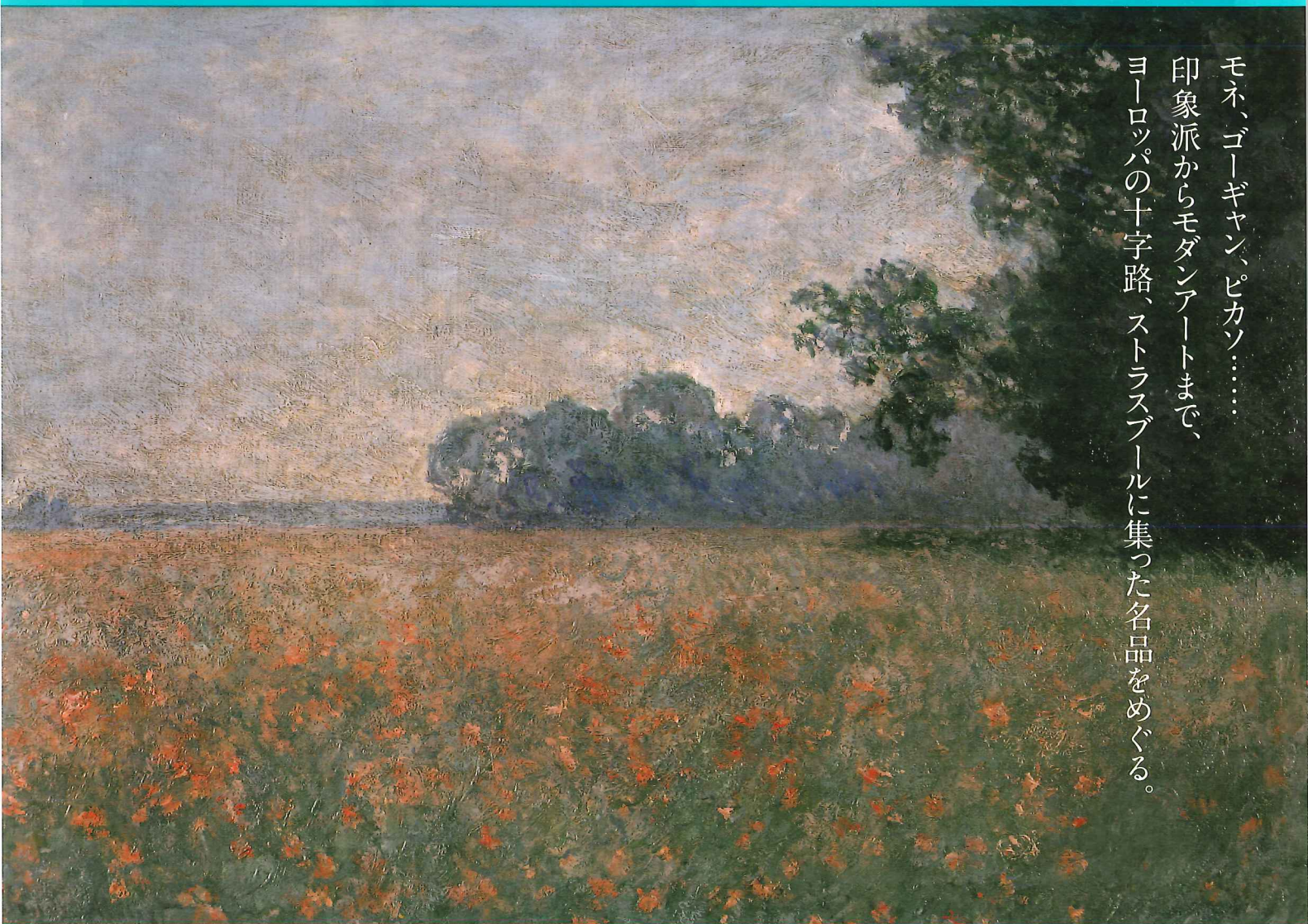
ストラスブール美術館展

2019 9.13(fri) - 11.4(mon)

開館時間: 午前9時30分～午後5時(発券は午後4時30分まで)

休館日: 月曜日(9月16日、23日、10月14日、11月4日は開館)、9月17日、24日、10月15日

モネ、ゴッガン、ピカソ……
印象派からモダンアートまで、
ヨーロッパの十字路、ストラスブールに集った名品をめぐる。



クロード・モネ《ひなげしの咲く変相》1890年頃
Musée d'Art Moderne et Contemporain de Strasbourg. Photo Musées de Strasbourg

主催: 宮城県美術館、河北新報社、KHB東日本放送

後援: 在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本、仙台市教育委員会、NHK仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、エフエム仙台、IAT岩手朝日テレビ、YTS山形テレビ、KPB福島放送

特別協賛: 杜の都信用金庫 協賛: サン・ペンディング東北 企画協力: ホワイトインターナショナル

宮城県美術館
THE MIYAGI MUSEUM OF ART

MUSEES DE LA VILLE DE STRASBOURG

Strasbourg
EUROPEAN CAPITAL OF CULTURE 2018



1.



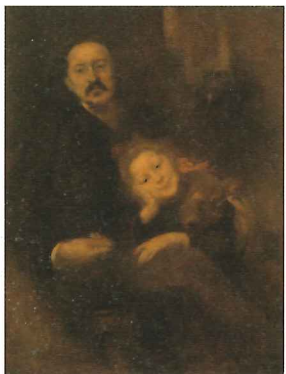
4.



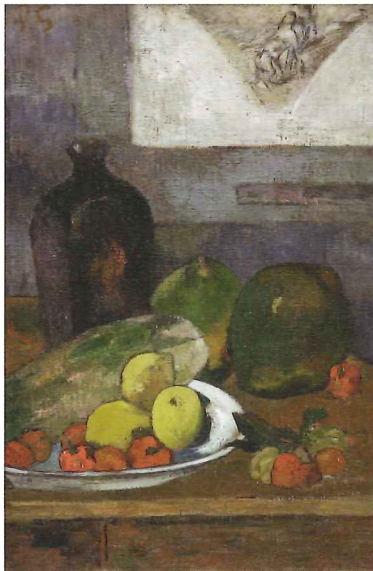
6.



8.



2.



5.



7.



9.



3.



10.

1. ジャン・バティスト・カミーユ・コロー(オルレアン、サント=パテリスの鐘楼の窓からの眺め)1830年頃 / 2. ウージェス・カリエール(ガブリエル・セイエと娘の肖像)1893年 / 3. ヴィクトール・ブラウナー(溶剤)1934年 © ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019 E3411 / 4. ホール・シニャック(アンティープ、夕暮れ)1914年 / 5. ホール・ゴーギャン(ドラクロワのエスキースのある静物)1887年頃 / 6. マリー・ローランサン(マリー・ドルモワの肖像)1949年 / 7. ジャン・アルプ(ダンサー)1926-55年 © VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2019 E3411 / 8. アルフレッド・シスレー(家のある風景)1873年頃 / 9. ヴァンリー・カンディンスキー(冷たい隔たり)1932年 / 10. ジョルジュ・ブラック(静物)1911年 © ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019 E3411

1. Musée des Beaux-arts de Strasbourg | 2-8,10. Musée d'Art Moderne et Contemporain de Strasbourg | 1-8,10. Photo © Musées de Strasbourg | 9. Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCL, Dist. RMN-Grand Palais / image Centre Pompidou, MNAM-CCL / distributed by AMF



De l'impressionnisme à l'art moderne dans les collections des musées de STRASBOURG

ドイツの国境近く、フランス北東部アルザス地方の中心地ストラスブールは、10館にも及ぶ美術館、博物館を擁し、多岐にわたる優れたコレクションを所蔵しています。中でも1998年に開館したストラスブール近現代美術館は、印象派から現代美術までを網羅した18,000点に及ぶコレクションを誇り、フランス国内でも屈指の規模の美術館として知られています。

本展では、ストラスブール近現代美術館の多彩な作品によって、印象派の画家から20世紀美術の開拓者まで、近現代美術の流れを辿ります。

モネ、シスレーなどの印象派の画家たちが描いた風景。ゴーギャンやシニャックといった印象派以降の画家たちの色彩とタッチの変化。ロダン、カリエール、そしてローランサン、ピカソといった画家たちの個性豊かな表現。そして、キュビズム、抽象、シュルレアリスムなど、印象派からモダンアートへの展開をさまざまな視点で紹介します。

西洋近代美術史を語る上では欠かせない画家から、アルザス地方ゆかりの画家まで、ストラスブールからやってきた名品の数々をお楽しみください。

関連事業

- 記念講演会「印象派からモダンアートへの展望」
講師：千足伸行氏(本展監修者、成城大学名誉教授、広島県立美術館長)
日時：10月13日(日)午後2時～(90分程度) 開場：午後1時30分 会場：当館講堂(聴講無料)
- まちなか美術講座「ストラスブール—そのコレクションの魅力」
講師：赤間和美(当館学芸員) 日時：10月5日(土)午後1時30分～午後3時
会場：東北工業大学一番町ロビー2Fホール(聴講無料)
- 当館学芸員による展示解説
日時：9月16日(月・祝)、10月20日(日)各日とも午後2時～ 会場：当館アートホール(聴講無料)

相互割引情報

本展チケットの提示で下記展示会を団体料金で観覧できます。他の割引との併用はできません。
東北歴史博物館開館20周年記念特別展「蝦夷」 2019年9月21日(土)～11月24日(日) 東北歴史博物館

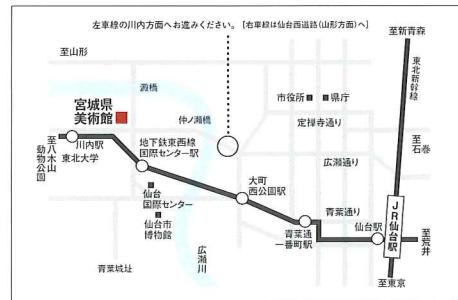
観覧料(円)	一般	学生	小・中・高校生
当日	1,500	1,300	750
前売・団体(20名以上)	1,300	1,100	600

前売り券販売所 [7月6日(土)～9月12日(木)までの販売]

宮城県美術館、藤崎、仙台三越、セブンチケット、チケットぴあ(Pコード：769-844)、ローソンチケット(Lコード：21955)、河北新報販売店、宮城県庁1階売店、みやぎ生協共同購入部、コープふくしま共同購入部、日専連カスタマーセンター(アエルビル9F)、ニッセンレン・テラス セルバ店

交通案内 ※駐車場に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

1. 市営地下鉄利用の場合：東西線国際センター駅西1出口から右(北)へ徒歩7分、川内駅北1出口から右(東)へ徒歩7分
2. バス利用の場合：仙台駅西口バスプール9番乗場から市営バス「川内営業所前行」もしくは「(広瀬通経由)交通公園循環」に乗り、「二高・宮城県美術館前」下車、徒歩3分
3. 一ぶる仙台バス利用の場合：「二高・宮城県美術館前」下車
4. タクシー利用の場合：仙台駅から約10分
5. 高速道路利用の場合：東北自動車道・仙台宮城I.C.より仙台方面(仙台西道路)に入り、仙台城跡方面を経由して美術館へ(仙台宮城I.C.より約15分)



次回の展示会
「アイヌの美しき手仕事 柳宗悦と芹沢銈介のコレクションから」
2020年1月25日(土)～3月15日(日)

宮城県美術館 THE MIYAGI MUSEUM OF ART

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1 Tel:022-221-2111
http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/
twitter @miyagi_bijutu